H20　HULFT 制御ツール
取扱説明書

本マニュアル記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Field Logic
Creation with Software
株式会社 フィールドロジック

CONTENTS

Chapter 1 HULFT 制御ツールについて 3

1-1 概要 3

1-2 画面構成 5

Chapter 2 基本操作 6

2-1 チャンネル設定 6

2-2 サイト情報の設定 7

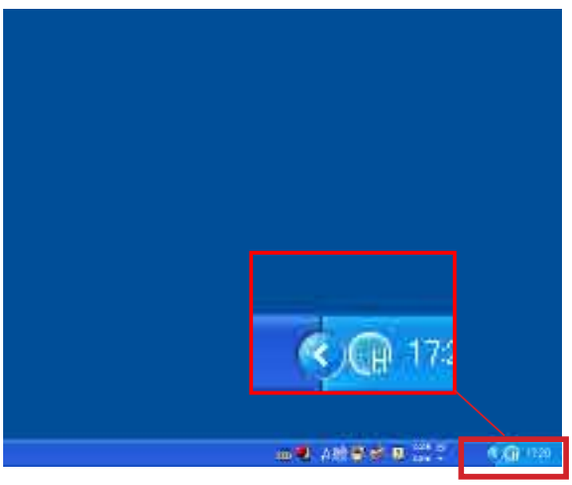
2-3 書式 4 印刷 8

付録 ： PrimoPDF のインストール 9

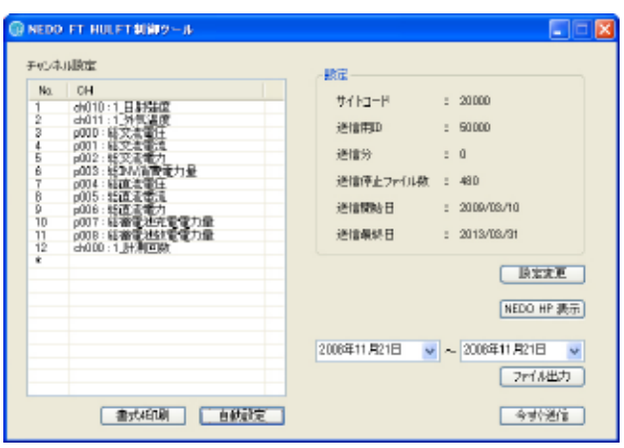
Chapter 1 HULFT 制御ツールについて

1-1　概要

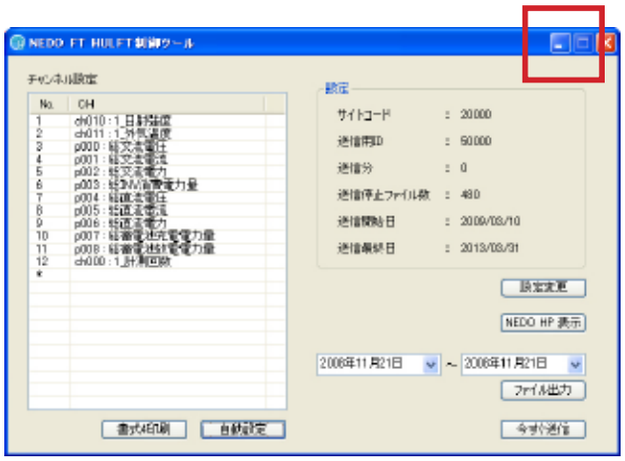
HULFT 制御ツール はスタートアップに登録されており、PC 起動後にタスクバーで常駐するソフトになります。
タスクバーにある HULFT 制御ツール のアイコンをクリックすることで HULFT 制御ツール の設定を行うことができます。



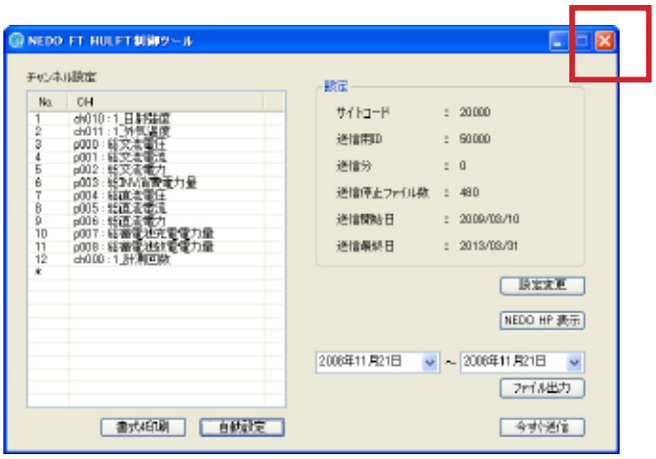
アイコンをクリックすると右図のような
NEDO FT HULFT 制御ツールというウィンドウが表示されます。
このウィンドウからサイトコードなどの
NEDO FT の情報送信に必要な設定を
行うことができます。



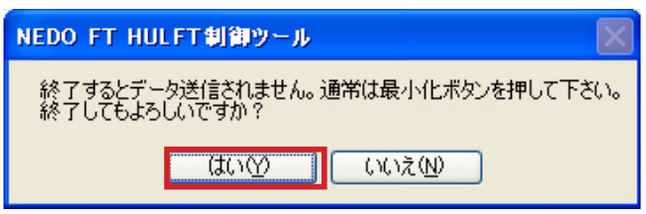
ウィンドウ右上の最小化ボタンをクリックすることタスクバーに常駐させることができます。



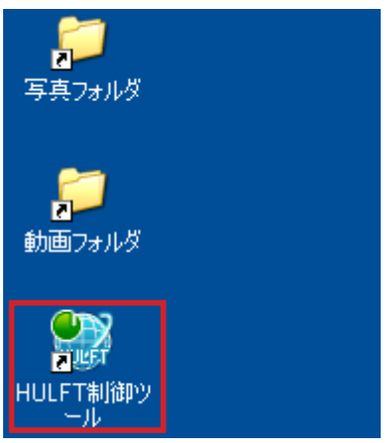
ウィンドウ右上の赤いボタンをクリックすることで HULFT 制御ツールを終了させることができます。
※終了するとデータ送信されません。



右上の赤いボタンをクリックすると右図のようなウィンドウが表示されます。
「はい」を選択すると HULFT 制御ツールは終了します。

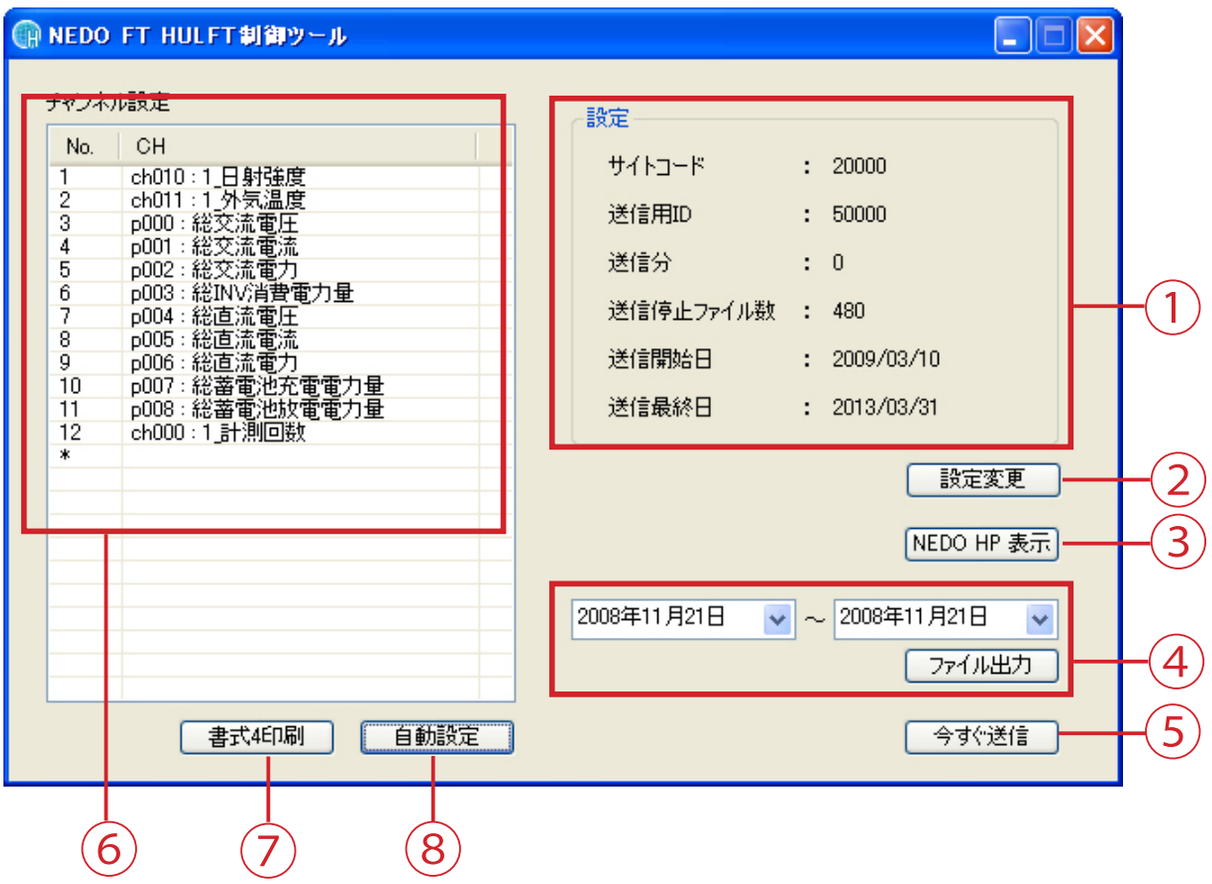


新たに起動したい場合デスクトップ上にある HULFT 制御ツールのショートカットをダブルクリックすることで起動させることができます。



HULFT 制御ツールのショートカットをダブルクリックした際に右図のようなウィンドウが表示された場合、HULFT 制御ツールはすでに起動中です。
タスクバーの常駐アイコンをご確認ください。

1-2　画面構成



①設定表示　…… サイトコードなどの情報を表示します。

②設定変更　…… サイトコードなどの設定を変更します。

③ＮＥＤＯ　ＨＰ表示　…… NEDO の確認用ホームページを表示します。

※接続確認のために使用します。

④日付指定ファイル出力　… 指定した日付の送信用ファイルを出力します。

⑤今すぐ送信　…… NEDO フォルダにある未送信ファイルをサーバーに送信します　。

⑥チャンネル設定　…… ファイル送信用データチャンネルの設定を行います。

⑦書式４印刷　…… 書式４の印刷を行います。

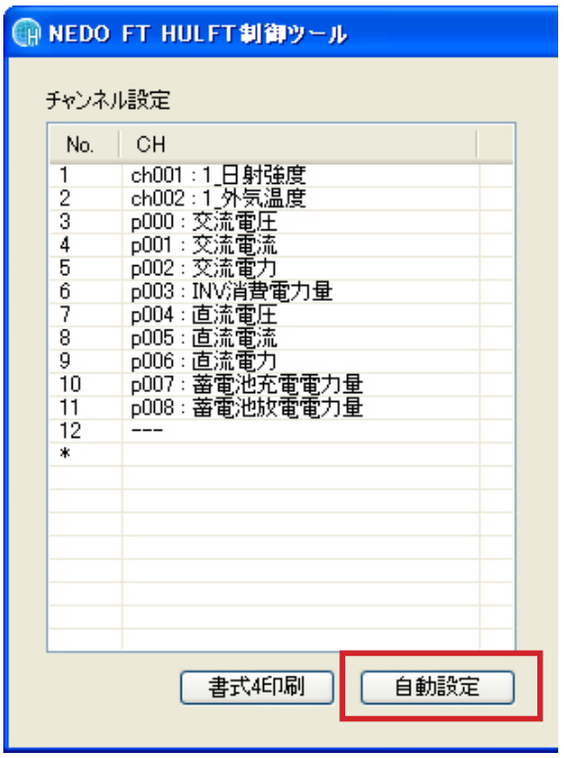
※高効率向上形式の効率計算書です。

⑧自動設定　…… ファイル送信用データチャンネルの設定を自動で行います。

※ Beans の設定によっては正しくチャンネルの設定が
できない場合があります。

Chapter 2　基本操作

2-1 チャンネル設定



2-1-1　自動設定

自動設定をクリックすると

NEDO に送信するデータチャンネルを

Beans の計測設定を元に自動で設定します。

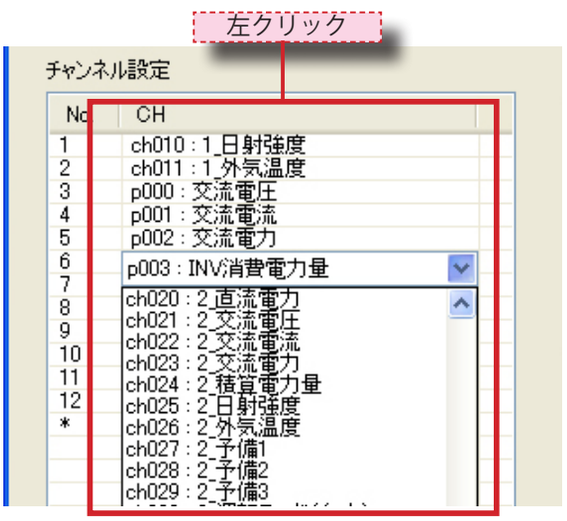
※ Beans の設定によっては正しくチャンネル

　の設定ができない場合があります。

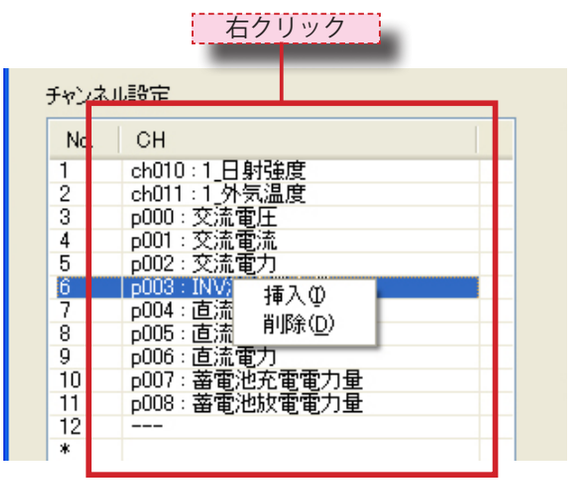
2-1-2　手動設定

チャンネル設定欄をクリックすることで

手動でチャンネル設定を行うことができます。

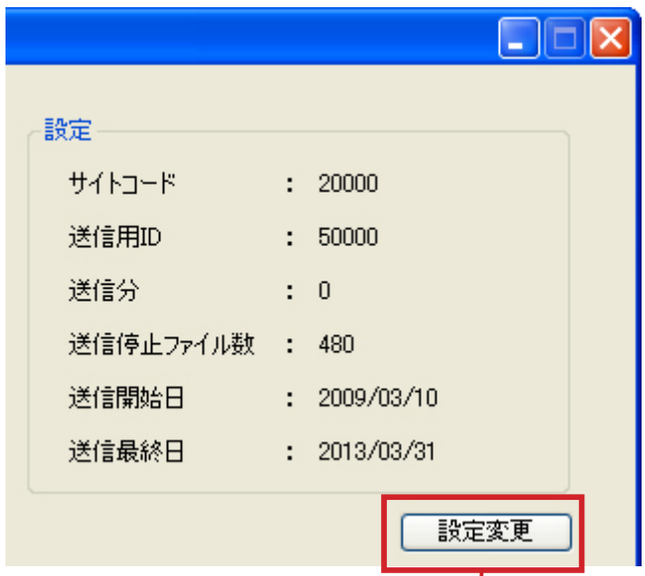


チャンネル上を左クリックすることでクリックした No のチャンネルを変更することができます。

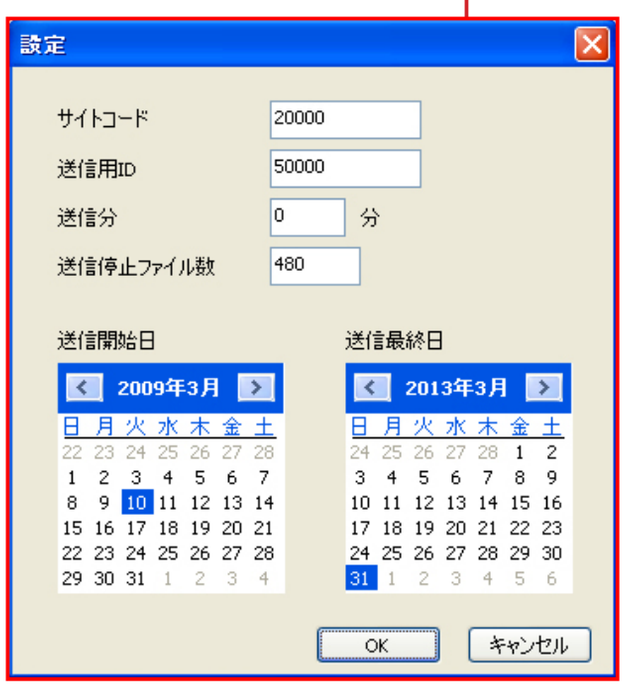


チャンネル上を右クリックすることでクリックした No の箇所にチャンネルを挿入、またはクリックした No を削除することができます。

2-2 サイト情報の設定



設定変更をクリックすると
サイト情報の設定をするための
新たなウィンドウが表示されます。
そのウィンドウを使いサイト情報を
設定します。

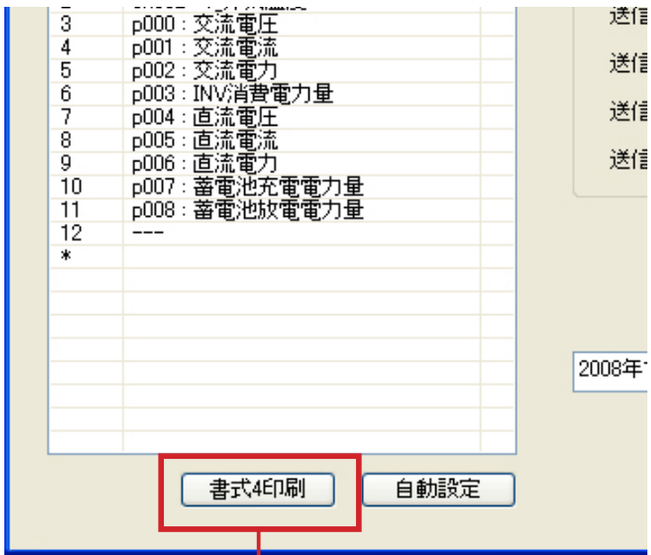


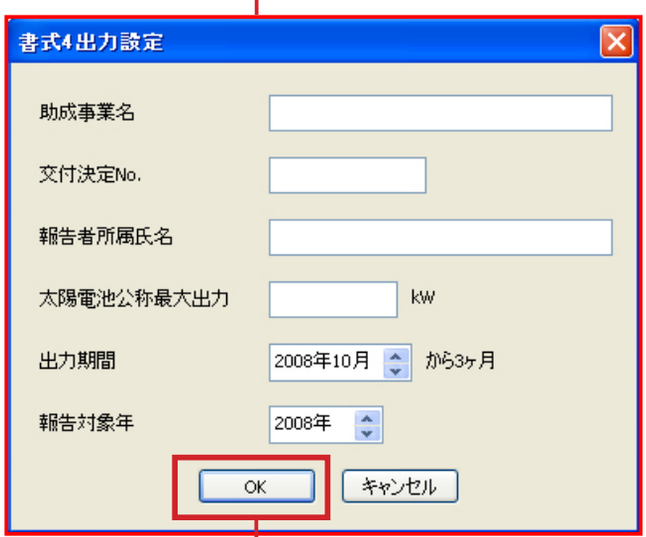
・サイトコード
　サイトコードを入力します。
・送信用 ID
　送信用 ID を入力します。
・送信分
　NEDO により指定された NEDO に
　送信する分を入力します。
・送信停止ファイル数
　ここで指定したファイル数以上の
　送信ファイルが蓄積された場合
　NEDO への送信を行わないようにします。
　※デフォルトでは、10 日間無通信だった場合に作成される 480 ファイルに設定されています。NEDO より指示があった場合にのみ変更します。
・送信開始日
　NEDO への送信を開始する日を選択します。
・送信最終日
　NEDO への送信を終了する日を選択します。

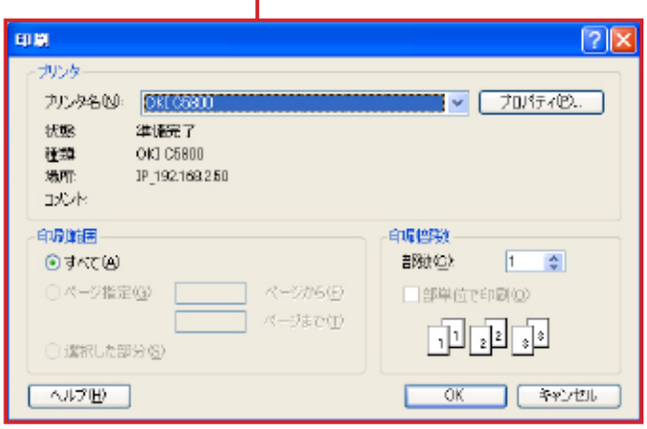
OK をクリックすると入力した設定を反映させ終了します。
キャンセルをクリックすると入力した設定を反映させずに終了します　。

2-3 書式４印刷

書式４印刷をクリックすると
書式４の設定をするための
新たなウィンドウが表示されます。
各項目を入力後 OK をクリックすると
書式４を印刷します。





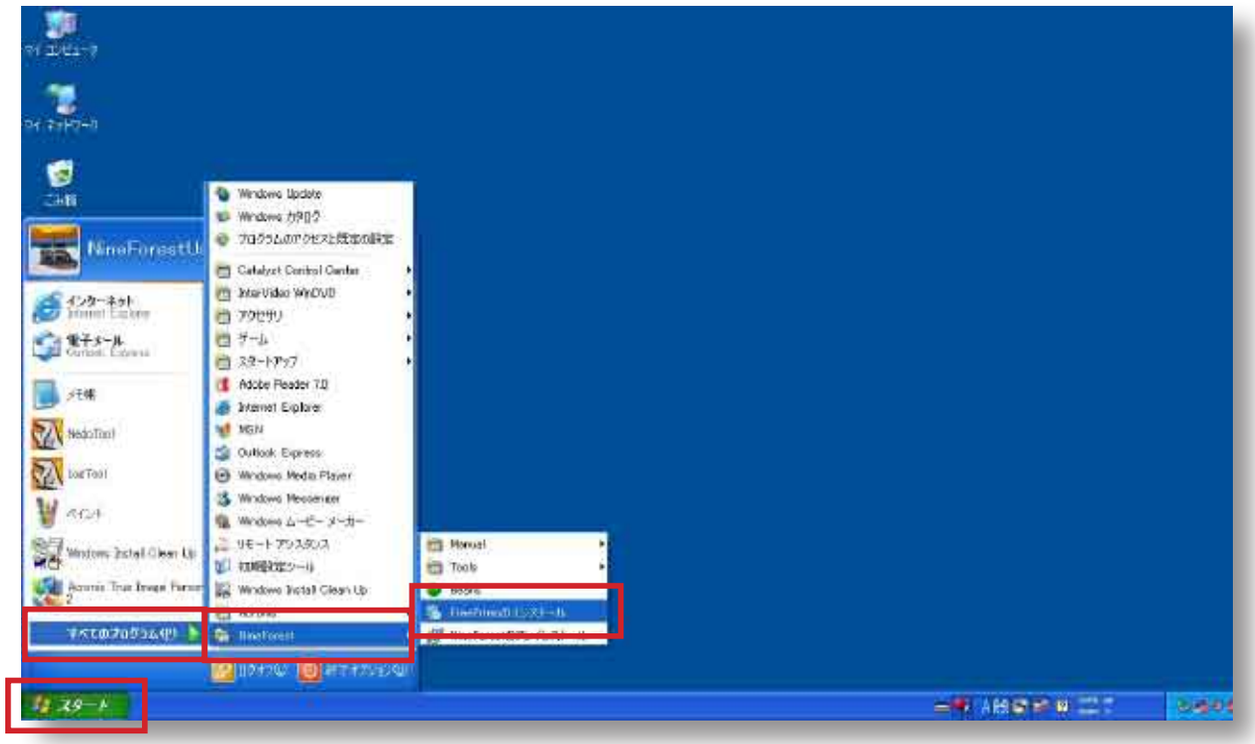


・助成事業名
　助成事業名を入力します。
・交付決定 No
　交付決定 No を入力します。
・報告者所属氏名
　報告者所属氏名を入力します。
・太陽電池公称最大出力
　太陽電池公称最大出力を入力します。
・出力期間
　出力期間を選択します。
　選択した月から 3 ヶ月のデータが
　出力されます。
・報告対象年
　報告対象年を選択します。

OK をクリックすると印刷ウィンドウが表示され印刷を行うことができます。
キャンセルをクリックすると印刷を行わず終了します。
※ FreePrimo がインストールされている場合、
　書式４を PDF ファイルとして出力することができます。

付録：PrimoPDF のインストール

※ FreePrimo がインストールされていない場合に参照してください



次の順番にクリックして下さい。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Nine Forest」

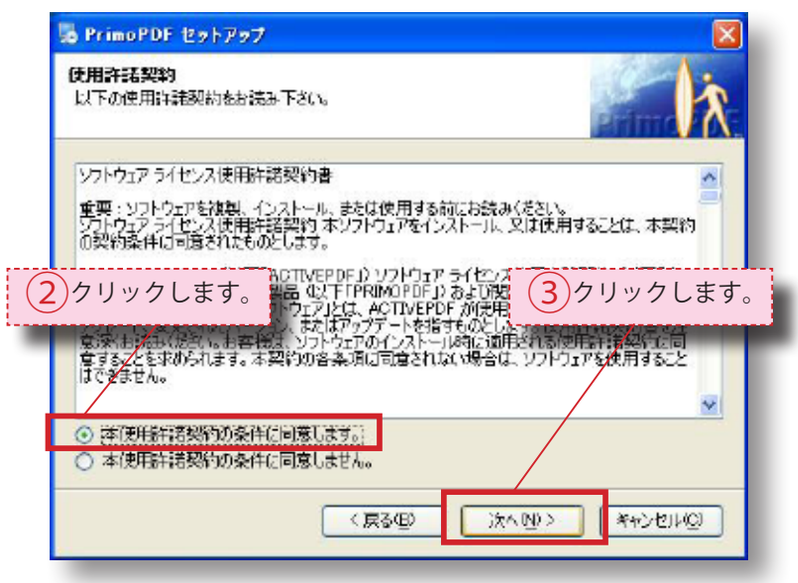
→「FreePrimo のインストール」

インストール・ウィザードが立ち上がります。

インストールウィザードが立ち
上がりましたので、
次へをクリックします (①)。

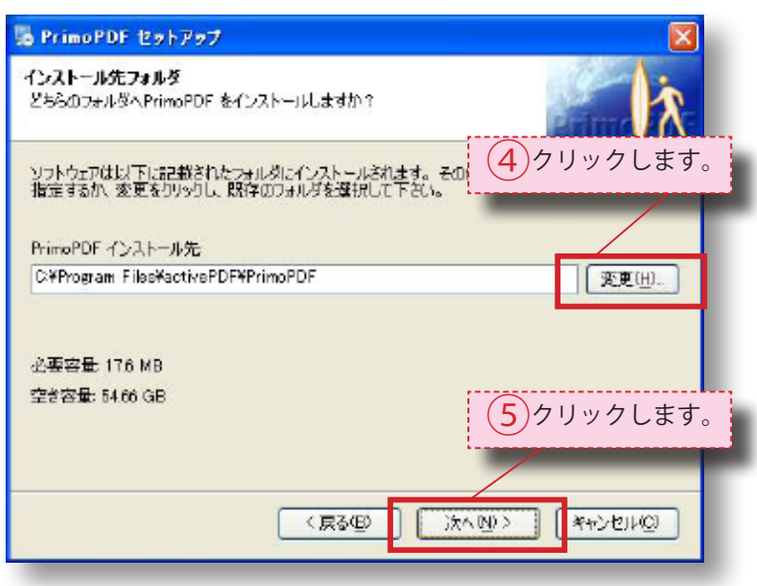
「同意します」を
選択します (②)。

次へ進みます (③)。

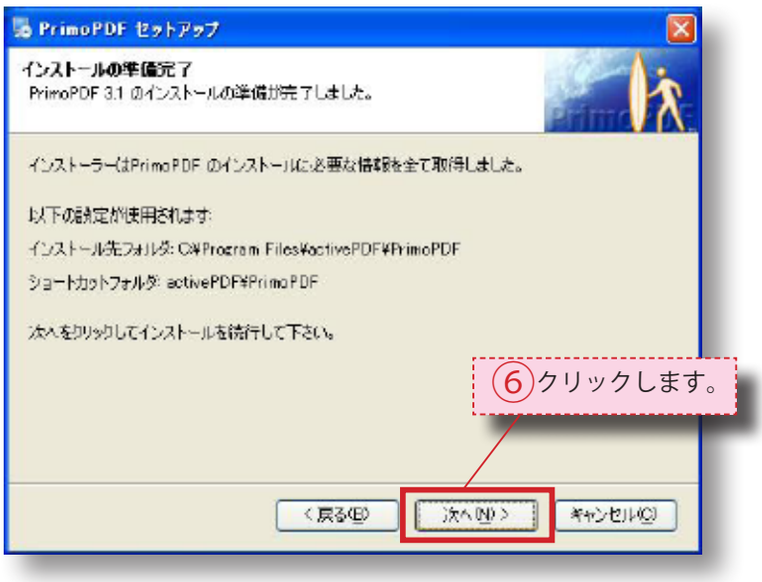


PrimoPDF の
インストール先を変更する場合
は、④をクリックし、
保存先を選択します。

ディフォルト指定の場所でよい
場合は、次へ進みます (⑤)。



次へをクリックします (⑥)。



PrimoPDF マニュアルを開く
場合は、「はい」を選択し、
開かない場合は、
「いいえ」を選択し、
「完了」を選択します (⑦)。